

本校生に聞いた★



地元の自慢は何ですか？

愛荘町

① びんてまり 紹介者: 田川果歩さん(1-5)

瓶の中にてまりが入っている。てまりは刺繍が施されていて、綺麗な装飾品になっている。小・中学生を対象にびんてまりを作る体験も行われている。田川さんの姉も体験したことがあるそうだ。田川さんは「愛荘町のことを色々な人知ってもらえたらうれしい」と話した。

今回のキマグレでは前回に引き続き、地元の自慢できるところについてアンケートしたなかで、特に興味深いものを紹介する。滋賀県内の南側の有名な場所や食べ物など、5つを取り上げる。



▶ 愛荘町で受け継がれているびんてまり

東近江市

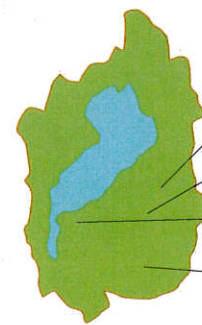
② 大凧 紹介者: 山北穂乃佳さん(1-4)

大凧は絵がきれいでもとても迫力があり、みんなで協力して凧を上げるとい点が醍醐味である。また大凧に書かれている一文字の漢字には深い意味が込められているそうだ。

甲賀市

③ 忍者村 紹介者: 小岩海人君(1-6)

かつて甲賀市には実際に忍者が住んでいたと言われている。市をあげて忍者村をPRしており、市内の小・中学校では忍者教育が行われている。忍者検定という検定があり、実技試験では忍者の衣装を着て手裏剣投げをするそうだ。小岩君は「この機会に忍者などに興味を持って、来てくれたらうれしい」とアピールした。



- ① 愛荘町
- ② 東近江市
- ④⑤ 守山市
- ③ 甲賀市

守山市

④ 螢 紹介者: 小川泰世君(1-1)

守山市の螢は一時期水質汚染によってほぼ全滅状態になったが、市民の手によって河川が美しく保たれ、初夏には螢が市街地にも飛び交うようになった。市で条例を定めて螢の保護をしている。螢のおかげで経済効果が生まれている。モーリーという螢の妖精のゆるキャラもいる。

守山市

⑤ メロン 紹介者: 坂入啓介君(1-1)

「モリヤマメロン」という名前で販売されている。夏の果物だが、「冬メロン」という商品も作られている。希少価値が高く、市場に出回るとはほとんどない。坂入君は「ほかのメロンよりも甘く、口に入れたらとろけるくらいおいしい」と紹介した。



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部
彦根市金亀町4番7号